

情 報 公 開 文 書

研究の名称	好酸球性副鼻腔炎の QOL 調査と QOL に基づいた治療ゴールの設定 (多施設共同研究)
受付番号	395
研究機関の名称	富山赤十字病院
研究責任者	富山赤十字病院 耳鼻いんこう科部副部長 舘野 宏彦
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山赤十字病院において、好酸球性副鼻腔炎患者および治療目的で経鼻的な手術、生物学的製剤の投与を含めた薬物療法を受けている患者を対象とします。</p> <p>【研究の目的】 好酸球性副鼻腔炎 (ECRS) は難治性の疾患であり、JESREC スコアにより判断基準、重症度分類フローチャートが作成され、適切な診断が可能となっています。まずは保存的な治療を先行させ、効果がなければ手術を行うが、その後に再発をきたす症例も存在します。難治症例に対して短期間のステロイド全身投与や病態をブロックできる生物学的製剤が適応となっています。今後も増えていくことが予想され、個々の症例に応じたプレジジョン・メディシンがますます求められます。</p> <p>ECRS にたいするプレジジョン・メディシンを行うにあたり最も重要なことは個々の症例の病態の把握に加えて、患者が最も苦痛に感じている症状を明らかにし、明確な治療ゴールを設定することです。そのためアンケート調査と専門医による鼻副鼻腔の病勢を 5 段階評価してデータ収集します。</p> <p>【研究方法】 多施設共同前向き観察研究</p> <p>【研究期間】 承認後～2030 年 3 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会や論文などに発表。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	<p>主要評価項目：S C o T スコアの基準関連妥当性</p> <p>副次的評価項目：S C o T スコアの信頼性指標</p> <p style="text-align: center;">E C R S における臨床的寛解基準の設定</p>
試料・情報の管理責任者	富山赤十字病院 耳鼻いんこう科部副部長 舘野 宏彦
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p style="text-align: center;">担 当 者 富山赤十字病院 耳鼻いんこう科部副部長 舘野 宏彦</p> <p style="text-align: center;">電 話 番 号 076-433-2222</p> <p style="text-align: center;">受 付 時 間 平日 14 時～16 時</p>